JFA 小学校体育サポート研修会 IN 山口　2025.8.27（水）

令和7年（2025年）8月27日（水）山口市立小郡南小学校において、校内研修の1つとして実施されました。

指導者として、公益財団法人 日本サッカー協会 JFA コーチ（現 北海道美唄市立中央小学校教諭）尾形 行亮様をお招きしました。尾形先生は、アイスブレイク（体ほぐしの運動）から、ゲームやボール運動へとつながる段階的な実技を準備され、先生方に体育科の授業づくりについて、わかりやすく丁寧にご指導いただきました。2学期が始まる直前でしたが、27名の先生方の参加がありました。暑い中にもかかわらず、多くの先生方の笑顔あふれる研修会となりました。

体ほぐしの運動

活動の流れ

①開会行事
②講師自己紹介
③アイスブレイク
④新聞紙ボール作り
⑤実技指導【簡単な動きや遊び】
⑥実技指導【主活動】
⑦講話～逆算の発想から授業づくり～
⑧閉会行事

ウォーミングアップ、アイスブレイクを兼ねて「じゃんけん」「手押し相撲」など、人間関係を培うような運動を取り入れつつ、学級経営でも使える声かけや指導のコツなどを教えていただきました。

新聞紙ボール作りでは、操作しやすいボールとして紹介していただきました。結び目を残さず作ること、空気を抜くこと、新聞紙8枚～10枚で作ることなどのこつを教えていただきました。

新聞紙ボール作り

実技指導　簡単な動きや遊び

「ボール運び競争」「ペアドリブル」「ボールお手玉」「ボールキャッチ」等、個人や集団でボール操作に慣れる様々なアクティビティを教えていただきました。あえて違う種類のボールを扱うこと、ペアで取り組まないといけない設定等、学級づくりにもつながるような活動が多く取り込まれていました。

実技指導　鬼遊び

低学年の「鬼遊び」「ボールゲーム」から「ゲーム」「ボール運動」と発達段階に応じた系統的・発展的な活動を行いました。鬼遊びでも体の使い方について教師の声かけをはさむだけでスクリーンのような体の使い方になったり、ボールゲームでも下手投げの動きから蹴る動作の習得につなげたりと理論的なことも学ぶことができました。

実技指導　ナンバーコールゲーム

No line の考え方として、全員をただ並べるのではなく、ゲームにいかに参加させるか。全員待ちがないナンバーコールゲームを行いました。ここでも体ほぐしの運動で大切にされていた手をつなぐこと、仲間意識を大切にしながらも活動量を確保する楽しい活動を行いました。

講話～逆算の発想からの授業づくり

最後に、サッカーを中心とした授業づくりについて講義をしていただきました。子どもの実態に応じたルールや場の工夫について、講師の先生が現在取り組まれている体育授業を取り上げながら話をされ、すぐに授業で活用できる内容が多くありました。